



花き生産情報第6号

平成27年9月17日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

◎キクは、健全な種苗を確保し、適正な栽培管理で高品質生産に努めましょう！

夏秋ギク（7～9月出荷）

1 今後の作業

採苗用として切り下株を伏せ込む苗床は、その2週間前に施肥する。1a当たりの施用量は、完熟堆肥250～300kg、窒素、りん酸、カリを成分で各0.5～1.0kgを目安とする。

親株の伏せ込みは、健苗を確保するため10月下旬までに日当たりと排水の良いハウスで行う。

秋ギク（10～11月出荷）

1 生育状況

生育は概ね順調である。

病虫害は白さび病やハダニ類、ヤガ類が散見される。

表1 生育調査（9月10日現在）

場所	年次	品種	定植月日 (月 日)	草丈 (cm)	葉数 (枚)
新郷村	本年	神馬2号	7月21日	76.4	36.8
	平年	神馬2号	7月11日	87.7	49.2
	(平年差・比)		(遅10日)	(87%)	(75%)
	前年	神馬2号	7月21日	66.1	32.9
五所川原市	本年	神馬	7月4日	93.5	48.8
	平年	神馬	7月7日	88.8	45.7
	(平年差・比)		(早3日)	(105%)	(107%)
	前年	神馬	7月12日	87.2	44.2

※ 平年値：新郷村は平成21～26年の平均
五所川原市は平成22年～26年の平均

2 今後の作業

(1) 温度管理

夜間15℃を目標に適正な温度管理を行い、高品質生産に努める。

(2) 病虫害防除

病害では白さび病、虫害ではヤガ類、アブラムシ類の発生に注意し、早期発見・早期防除に努める。

病虫害の被害を受けた株や生育の劣る株は速やかに抜き取り、被害の拡大を防ぐとともに、親株として使用しない。

◎「秋の農作業安全運動」実施中 平成27年8月15日～10月31日

- ・高齢者の事故防止
- ・機械の転落・転倒防止
- ・農業機械への巻き込まれ防止
- ・高所作業中の事故防止

◎農薬の使用に当たって

農薬の適正使用と隣接農地への飛散防止に十分気をつけましょう。

使用した農薬などは、河川等へ絶対捨てないでください。

農薬を使用する場合には、必ず最新の農薬登録内容を確認してください。

～農薬情報(http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)～
